

議 事 録

アパレル技能科 教育課程編成委員会ミーティング

日 時	2024年7月26日（金） 14:00～14:30 オンライン
場 所	東京服飾専門学校(3FH1) 豊島区巢鴨1-19-7
企業出席者	一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 事務局長 境泰志様 日本アパレル工業技術研究会事務局長 田辺修一様 有限会社ビーシーコスチューム代表取締役 太田えりこ様 株式会社クレヨン人事営業部マネージャー 吉田愛里様 鷺 典子 造形科学科長 石川 誠 ビジネス科学科長
欠 席 者	3名
概要	1.教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への取り組み 2.教育・育成内容向上に関する取り組み(成果・課題) 以上について業界の求める人材を学科として育てているか、意見を収集して改善を図る
内容	①挨拶 ・教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への再確認 ・当校教育理念の共有と時代・価値変化に伴う意義説明 ②職業実践講座授業の実施途中結果 石川誠 ・教育課程編成委員会の趣旨を説明。 ・今回の教育編成委員会の目的と議事項目の紹介。 ・出席者紹介 ・アパレル技能科 ③1年基礎科 はじめに洋服を作る事において必要な基礎部分、自分の作りたい服をデザインし、製図、生地を裁断 縫製を行う、一連の流れを身につけさせる事と、総合的に洋服をとらえる事が出来るような授業内容に重きを おいている。 ・しっかりと将来自分の目指す仕事につけるように、学生のうちからやりたい事、出来る事の見極めが つけられ、目標に向かって努力できるように指導を行なってゆく ④2年アパレル技能科衣装制作コース ・デザインパターンを重視した作品作り ヘッドドレス、帽子製作など ・薄物を使った前期ショーの作品作り、繊細な端処理、縫製方法 ・自分のデザインしたデザインをパターンに起こし、生地選び、縫製までの技術を習得 ・舞台衣装の世界で活躍出来る人材の育成 ⑤3年専攻科 ・作りたい服をデザインに起こしパターン、縫製と高度な服作りができるように指導してゆく。 ・デジタルツールを使った授業 Ipad を使用したコラーージュなどの加工 Ipadを使用したデザイン画 インタラクティブボードを使用したプレゼンテーションの強化、 ポートフォリオ製作(就活用) ⑥産学連携実習 ・博物館の衣装展見学/おもしろい服、不思議な形のパターンによる服の展覧会 ・(株)SHINDO服飾副資材の見学/オリジナルのストレッチテープ、レースなど提供して頂きショーで発表しました ・劇団四季ミュージカル「美女と野獣」観劇舞台衣装を目指す学生に対し劇場の空気感、衣装のフォルムを感じて もらいたい。 ・後期からはバレエの製作会社B,Cコスチューム様監修による授業が行われます 学生もバレエの予習をしてから授業に向かわせたいと思います。 ・学習レポート作成、見学、体感した事をレポート作成にまとめる力をつけたい
研修活動	・職員による勉強会の強化 職員もミンなど新しい機材、縫製ルートの確認などの工場見学、研修 辻洋装店、(株)ツヅキ工場、ソーイングアサヒ(株) 報告、レポート提出
まとめ（総括）	・教育指針 本校として、学生に対してどのような指導を行い、学生を将来的にどう導いていくのか 教育の最終目的の部分に参加者の方々と共有出来た事が特に大きい事だと確信しております、 今後も今回提示させて頂いた目標に向かって学生への指導を進めて行きたいと思っております。
	作成者 鷺典子